

Cisco Unified Presence サーバ ライセンスについて

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[説明される CUPS 認可](#)

[問題](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco Unified Presence Server (CUPS) のためのライセンス情報を記述したものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CUPS バージョン 8.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

説明される CUPS 認可

十分に CUPS を認可するために、ライセンス ファイルの内でこれらのライセンスが必要となります:

- ENT_PE_NODE は存在エンジンの上の Cisco のためです。
- ENT_PROXY_NODE は SIP プロキシの上の Cisco のためです。
- CUPS のあらゆる以前のバージョンからバージョン 8.x へアップグレードするために SW_FEATURE が必要となります。

注: CUPS バージョン 8.x の新しいインストールはデータベースの組み込み SW_FEATURE ライセンスが付いています。

問題

存在サーバのライセンス ファイルをアップロードした後、システムまだディスプレイは警告を認可します。

ライセンス警告には 2 つの型があります:

- 90 日に解決される必要がある評価期間警告。
- 30 日に解決される必要がある猶予期間警告。

評価期間は存在サーバが新しいインストールである、システムは正しいライセンスをアップロードするために 90 日まで与えますことを意味し。

猶予期間はこの存在 Server ノードが一度十分に認可されたことを意味します。以降はホスト名/IP アドレス/Network Time Protocol (NTP) のような、ネットワークコンフィギュレーション、/存在サーバのライセンス MAC フィールドを変更した Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) /Domain/ Domain Name System (DNS) 変更されました。この警告は仮想マシンで物理サーバのためのライセンス MAC がそのサーバの Network Interface Controller (NIC) と関連付けられるのでだけ表示されます。この警告はまた存在サーバへのまたは逆に物理的のから仮想マシン移行されるとき表示されます。

これらの原因により存在サーバはライセンス警告を表示する場合があります:

1. ライセンス ファイルのホスト ID フィールドは存在サーバのライセンス MAC フィールドを一致する。
2. 存在サーバデータベースの Licenseinfo 表はまだ存在サーバ CLI にルートアクセスによって取除かれる必要がある前の MAC アドレスが含まれています。
3. ルートアクセスによってデータベースの存在サーバ Licenseinfo 表から取除かれる必要存在サーバに PHONE_UNITS ライセンス ファイルをアップロードしました。

解決策 1

存在 Server ノードが仮想か物理的なマシンにあるかどうか現在のライセンス MAC フィールドを確認すれば。

ライセンス MAC フィールドを確認し、存在サーバ CLI のコマンド **show status** を入力し、フィ

ールド「ライセンス MAC の値に注意するため」。

```
admin:show status
```

```
Host Name      : cups863
Date           : Mon Nov 5, 2012 22:43:35
Time Zone      : Central Standard Time (America/Chicago)
Locale         : en_US.UTF-8
Product Ver    : 8.6.3.10000-20
OS Ver         : 4.0.0.0-44
License MAC    : 8001fc5ffc76
```

前例では、ライセンス MAC フィールドは 8001fc5ffc76 です。

次に、このサーバが仮想または物理的であるかどうか確認するために、存在サーバ CLI のコマンド **show hardware** を入力し、注意して下さいフィールド「HW プラットフォームの値に」。

```
admin: show hardware
```

```
HW Platform    : VMware Virtual Machine
Processors     : 1
Type           : Intel(R) Xeon(R) CPU E7- 2870 @ 2.40GHz
CPU Speed      : 2400
Memory         : 2048 MBytes
Object ID      : VMware
OS Version     : UCOS 4.0.0.0-44
Serial Number  : VMware-42 1c 56 21 03 fb 5c 86-37 2d 3f f1 5a 56 51 a5
```

前の出力からの HW プラットフォーム パラメータはこのマシンが仮想マシンであることを示します。

最終的には、ライセンス ファイルのホスト ID パラメータの存在サーバのライセンス MAC を一致する。

注: 存在サーバが仮想マシンである場合、ライセンス ファイルのホスト ID パラメータはホスト ID = ホスト名 =License MAC があるはずですが、それが物理マシンである場合、ホスト ID は HOSTID=License Mac であるはずですが。

注: ホスト ID の値はすべての CAP であるはずですが。 **show status** コマンドが小文字 "8001fc5ffc76," の出力を提供するのにホスト ID のためのライセンス ファイルの値は "8001FC5FFC76." であるはずですが

存在エンジンおよびプロキシ ライセンスのサンプル ライセンス ファイルは下記にあります。

```
admin: show hardware
```

```
HW Platform    : VMware Virtual Machine
Processors     : 1
Type           : Intel(R) Xeon(R) CPU E7- 2870 @ 2.40GHz
CPU Speed      : 2400
Memory         : 2048 MBytes
Object ID      : VMware
OS Version     : UCOS 4.0.0.0-44
Serial Number  : VMware-42 1c 56 21 03 fb 5c 86-37 2d 3f f1 5a 56 51 a5
```

前例では、存在サーバはライセンス ファイルのホスト ID 値が

HOSTID=HOSTNAME=8001FC5FFC76 のはずである "8001fc5ffc76." のライセンス MAC の仮想マシンです。

ホスト ID が一致する場合、システムはライセンス警告を生成します。この問題を解決するために、チームを認可する Cisco とのケースをオープンし、この情報を提供して下さい:

1. 正しい MAC アドレス。
2. マシンは仮想または物理的であるかどうか。
3. ホスト ID がすべての CAP または小文字なら。

正しいファイルをアップロードした後警告がそれでも持続したら、正しい情報が存在サーバデータベースで Licenseinfo 表で保存されることを確認して下さい。

解決策 2

CUPS データベースの Licenseinfo 表のコンテンツを確認して下さい。

Licenseinfo 表のコンテンツを表示するために、コマンド実行 SQL を『*』を選択します存在サーバパブリッシャ CLI の licenseinfo から入力します。

```
admin:run sql select * from licenseinfo
pkid                                fklicenseserver                                tklicensefeature
licenseunits overdraftunits macaddress  version origmacid  licfileid  licfileversion
isdemo licenselineid upgradefromwindows permanent daystoexpiry fileid isvalid
=====
=====
=====
7f18d7c8-d1e4-43d9-9592-e7aedbed80b8 78893507-f5dc-4a9c-bcce-77824a14b9b7 3
1          0          f          t          0          12345          1.0
t          1          f          t          0
t50966b38-dc45-4a94-82b8-c4c85d159e58 78893507-f5dc-4a9c-bcce-77824a14b9b7 4
2          0          8001fc5ffc76 1.0      8001fc5ffc76 20120828112634008 2.0
f          2          f          t          0
tfc175de4-e6ae-4cae-90f8-1711563cee94 78893507-f5dc-4a9c-bcce-77824a14b9b7 5
2          0          8001fc5ffc76 1.0      8001fc5ffc76 20120828112634008 2.0
f          1          f          t          0          t
```

前の出力では、これらのフィールドは注目されるはずで:

tklicensefeature -ライセンス 機能を示します: PE ライセンス、プロキシ ライセンス、または SW_FEATURE

- tklicensefeature=3 (ソフトウェアバージョンを参照します) 8.x の //Introduced
- tklicensefeature=4 (コップ プロキシを参照します)
- tklicensefeature=5 (コップ存在エンジンを参照します)

値が 3/4/5 以外ある場合、ルートアクセスによって取除かれるその行必要。

macaddress -この値は現在のライセンス MAC フィールドを一致する必要があります。データベースの値はそれが仮想マシンでもまたはライセンス MAC フィールドがファイルと同様に大文字なら「ホスト名 =」を示しません。

Licfileid -存在サーバにアップロードされたライセンス ファイルの NAME をつけます。

一例として、がらくたファイルをデータベースから取除くために、前の出力からのそのファイル

名のファイル名およびコンテンツを確認して下さい。MAC アドレス "8001fc5ffc76" が正しいアドレスではない場合、データベースからそれを取除いて下さい:

ファイルをファイル システムから取除くために、このコマンドを入力して下さい:

```
admin:file delete license UPS20120828112634008.lic
Delete the File UPS20120828112634008.lic?
Enter "y" followed by return to continue: y
files: found = 1, deleted = 1
```

警告: ファイルを取除いた後、ファイル システムがデータベースに複製されるように「Cisco License Manager」サービスを再開する必要があります。サービスは存在サーバ サービサビリティ ページ > Tools > Control Center から-ネットワークサービス > Cisco License Manager 再開することができます。このサービスの再始動はサービスに影響を与えないし、本番時間の間にすることができます。

Licenseinfo 表のコンテンツを表示し、がらくた情報が取除かれたことを確認するために、コマンドを再度入力します。

```
admin:run sql select * from licenseinfo
pkid                                fklicenseserver                                tklicensefeature
licenseunits overdraftunits macaddress  version origmacid  licfileid  licfileversion
isdemo licenselineid upgradefromwindows permanent daystoexpiry fileid isvalid
=====
=====
=====
7f18d7c8-d1e4-43d9-9592-e7aedbed80b8 78893507-f5dc-4a9c-bcce-77824a14b9b7 3
1          0          8.0          12345          1.0
t          1          f          t          0          t
```

この場合、licfileid 20120828112634008 に関連付けられた行は両方とも取除かれました。

あるシナリオでは、データベースはまだファイルを取除いた後ないクリア。この場合、root アカウントはデータベースの値を直接きれいにするために生成される必要があります。そのプロシージャを行うために Cisco Technical Assistance Center に連絡して下さい。

関連情報

- [Cisco Unified Presence Server ライセンス情報](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)